

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

調べて分かったことを内容のまとまりで整理し、構成を考えて書く力

言語活動とその特徴

教材の特質

本単元では、不思議だな、調べたいなど思っている中村小学校にある物や場所などについて調べて分かったことを、レポート形式でまとめて書くという言語活動を設定している。調べてみたいことを「観察する」「人に聞く」「本や資料で調べる」などの方法を選んで調べ、分かったことを内容のまとまりごとに整理して書くことができると考えている。

本教材は、身の周りの中から調べたいことを決め、そのための方法を選び、実際に観察したり、人に聞いたり、本や資料で調べたりして分かったことをまとめていく。知りたいことに応じた方法で調べ、分かったことをレポートにまとめるにあたり、必要な情報は何か判断したり、内容のまとまりごとに整理して書いたりして学習を進めることができる。

児童の実態

指導観

児童はこれまでに、生活科で観察したことを色や形、大きさなどの観点ごとに文章を書いたり、先生を紹介するために、必要な事柄を考えてインタビューをし、事柄の順序を考えて文章を書いたりする学習を行っている。その際、集めた情報を事柄ごとに分類することに弱さが見られた。また、昨年度末の標準学力調査の「経験・想像したことなどから書くことを見付け、文章を書く」問題において、正答率は目標値に達していないという状況であり、伝えたいことを明確にして書くことが課題である。

2年生の同系統の学習「観察したことを書こう」では、自分の知っているもの大きさや形などくらべながら、生活科で観察したものを書いて伝える学習をしている。今回、身近な学校の物について調べていく中で、これまでの調べ方の学習を生かして、それぞれ内容に応じて有効な方法を選び、情報を収集していく。その後、集めた情報を観点を意識して、比較したり分類したりしながら整理し、見出しを立てることで内容のまとまりを確かめることができるようにさせたい。4年生の「知らせたいことを新聞で伝える」学習へつなげられるよう、書く事柄を明確にしそれに関わる内容のまとまりを意識して学習を進めていきたい。

2 単元の目標及び単元の評価規準

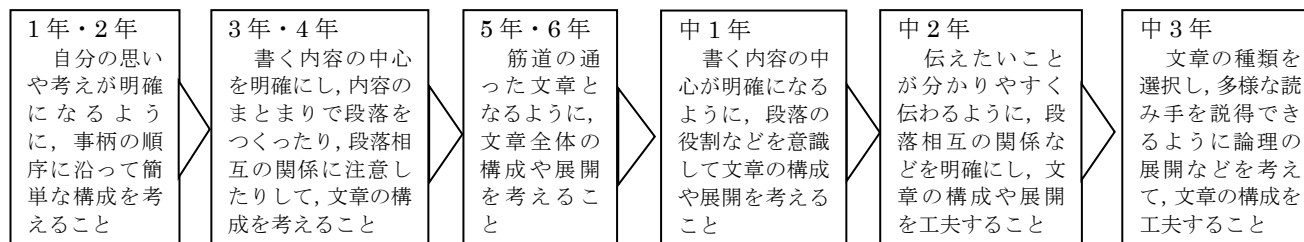
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、事典の使い方などを理解し使うことができる。(2)イ	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。Bイ	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、事典の使い方などを理解し使っている。(2)イ	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。Bイ	知りたいことを進んで調べ、見通しを持ってレポートにまとめようとしている。特に、調べたことを内容のまとまりを考えて、分かりやすく書くようとしている。

3 単元的主要資質・能力



4 研究主題に迫る手立て

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
—各教科等における見方・考え方を働かせて—

○身近なもの(学校内で気になっていたものや生き物など)をテーマに設定することで、主体的に学習を進めることができるようにする。
○調べたいものが同じような内容でグループを作ることで、友達に相談したりアドバイスをもらったりして考えを広げ深められるようにする。

5 学習の流れ

学習過程	主な学習内容及び学習活動	【 】評価規準・○指導上の留意点	言語活動	言葉による見方・考え方の成長
学習目的の理解と見通し	<p>①既習を想起し、必要な学習内容を考え、見通しを持つ。</p> <p>②分かりやすいレポートを書くためにまとめ方の工夫を考える。調べること(その理由)を決める。</p> <p>③詳しく調べたいことについて考え、調べる方法とどんなことを調べるときに有効か話し合う。</p> <p>④⑤それぞれの方法で調べ、分かったことを書き留める。</p> <p>⑥⑦調べた事柄を内容のまとまりごとに整理して、レポートの組み立てを考える。</p> <p>⑧⑨組み立てメモを基に下書きをし、分かりやすいレポートになっているかお互いに読み合って、アドバイスしながら清書する。</p>	<p>○これまでの学習を想起しながら話し合い、学習内容を考えられるようにする。 【主】</p> <p>○レポートと紹介文の違いを確かめ、モデルのレポートからまとめ方の工夫について考えることができるようにする。 ○調べる方法とどんな場合に有効か話し合うことで、調べたいことに応じて方法を選ぶことができるようにする。 ○人に聞いたり図鑑や本で調べたりして必要な語句を書き留められるようにする。 【知・技(2)イ】</p> <p>○付箋メモの言葉をもとに内容のまとまりごとに整理し、見出しを付け、構成を考えられるように支援する。 【思・判・表Bイ】</p> <p>○分かったことと考えや感想の文末表現の違いに気を付けて書くことができるようにする。 ○下書きを読み合って工夫点や改善点を伝え合い、まとめ方に見通しを持つことができるようにする。 【主】</p> <p>○メモをもとにレポートを読み合い、良さを伝え合わせる。まとめる際に気を付けたことや工夫したことを振り返り、今後の学習につなげさせる。</p>	<p>学校生活で気になるものについて、調べて分かったことをまとまりごとに整理して書く。</p>	<p>野菜を観察したり、先生にインタビューしたりして調べたことがある。色・形・大きさをよく見て書いた。始め・中・終わりで書くことができた。</p> <p>紹介文は、文章を続けて書いていた。レポートはまとまりが分かりやすい。番号や見出しがついている。写真もある。観察したり本や図鑑を使ったり人に聞いたりして調べられるね。</p> <p>ホールもトイレ前も置いてある所ってことだから仲間にしよう。見出しは、①ある場所 ②何のためか ③色の意味にするとまとまりになるかな。</p> <p>レポートは調べたいと思った理由や調べ方も書いて、最後に調べた本の名前も書くんだってね。</p> <p>総合の学習で調べたことを伝えるときにも、まとまりごとに見出しをつけて書くと、分かりやすいね。</p>
理解と表現の螺旋的な学び	<p>題材の設定</p> <p>情報の収集</p> <p>内容の検討・構成の検討</p> <p>考えの形成・記述</p> <p>推敲</p> <p>共有</p>			
表現活動・単元の振り返り	<p>⑩完成したレポートを読んで良さを伝え合い、学習の成果を振り返る。</p>			

本単元終了時の目指す児童の姿
○知りたいことに応じた方法で調べ、分かったことを内容のまとまりで整理して書く姿

6 本時の学習 (6 / 10 時間)

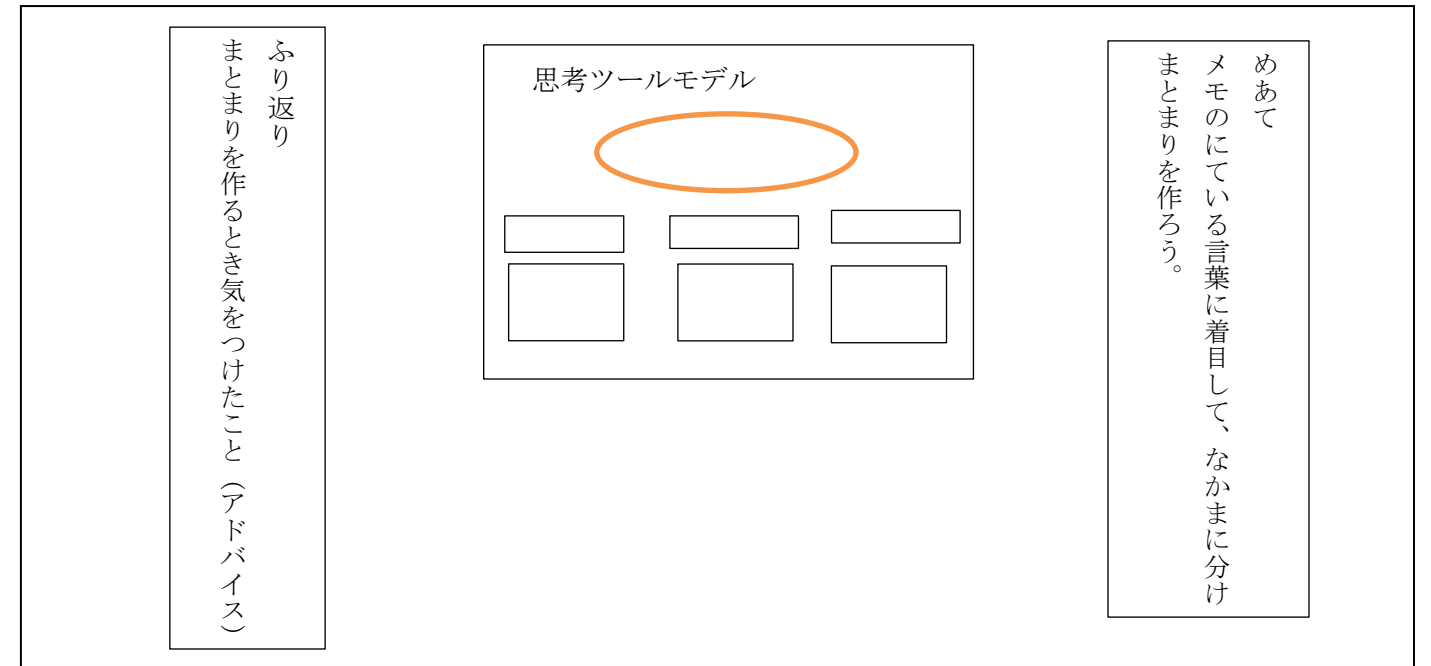
(1) 目標

調べた事柄を内容のまとまりごとに整理することができる。

(2) 展開

学習過程	学習内容及び学習活動	主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
学習目的の理解	1. 前時までの学習を想起し、今日の学習課題に見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 本で調べてメモした。 先生に聞いて詳しく書くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> メモを同じ内容でまとまりを作る本時の学習への意欲を高める。
	めあて メモのっている言葉に着目して、なかまに分けまとまりを作ろう。		
内容・構成の検討	2. 集めた複数の情報を観点ごとに分類し、内容のまとまりを作る。 (個人・グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ○メモの言葉を関係あるものどうしで、仲間分けしよう。 ・1階も2階もトイレの前にあった。パソコン室の前と家庭科室の前にも。これは場所。火事の時使う。火を消す道具。水が出てくる。これは何のためにあるかな。 (消火器) ・何も食べない、7~10日動かない、形を変えたは同じ仲間。羽をのぼす、触角、足は6本で仲間しよう。だいたい朝に生まれるも同じ仲間しようかな。 (モンシロチョウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●共通点となる言葉を手がかりに目的や使い方・場所・入っている物・色などの観点ごとに付箋メモを分類し、情報を整理できるようにする。 ●グループで相談したりアドバイスしたりして友達の考えも聞きながら、内容のまとまりを作っていけるようにする。
	3. 見出しをつけ、内容のまとまりを確かめる。 (個人・グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ○見出しをつけて、まとまりになっているか確かめよう。 ・ある場所、なぜあるのか、色(赤と白)について ・幼虫、さなぎ、成虫(モンシロチョウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●見出しをつけることで、内容のまとまりを明確にし、確かめられるようにする。 <p>☆集めた事柄を内容のまとまりで整理している。</p> <p>【思・判・表Bイ】 (ワークシート・付箋)</p>
振り返り	4. 本時を振り返り、次時の学習への見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ○同じようなことを書いていたものどうしで仲間分けすることができた。 ○見出しに合っているか確かめながらできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●まとまりを作るとき、どんなことに気がつけたか学習を振り返る。

(3) 板書計画



○本時で働かせたい言葉による見方・考え方

同じまとまりになるか、言葉と言葉の共通点を考えながら内容を確認している。

○主体的・対話的で深い学びを生み出すため工夫

グループで友達と話しながら交流することで、考えを確かに行けるようにする。

言語活動のモデル

